

「みんな虫を殺したかった」「神に愛されていた」「二人一組になってください」

サイン本
愛注します！

木爾チレン 作家デビュー15周年記念作品

飲み込んだ哀しみは、いつかあなたを生かす血肉になる。

哀を飲む

— 苦しくも美しい、哀と狂気を召し上がる。 —



木爾チレン（きなちゃん）
一九八七年生まれ。京都府京都市出身。二〇〇九年、大学在学中に執筆した短編小説「溶けたらしほんだ。」で新潮社「第九回女による女のために」・「18文学賞」優秀賞を受賞。二〇一二年、『静電気と、未夜子の無意識。』（幻冬舎）でデビュー。ボカラ小説（ライト）ベルの執筆を経て、恋愛ミスティック、児童書など多岐にわたるジャンルで表現の幅を広げる。主な著書に、『みんな虫を殺したかった』『私はだんだん氷になつた』（ともに『一見書房』）、『そして花子は過去になる』（宝島社）、『二人一組になってください』（双葉社）、『夏の匂いがする』（マイクロマガジン社）、『神に愛されていた』（小社刊）などがある。

愛を失くした女子たちの、性と生についての痛切な短編集。

水のように無味無臭で擋めない男との日々「水みたいの人」、明けない夜、名前も知らない恋人との関係に耽る「ジンジャーエール」に似ている」、私の体に飽きてきた彼氏に感じる切なさ「ぬるいラムネ」、死んだ夫の骨を飲む妻の物語「骨を飲む」など、全7話収録。

人生のほんのひとときくらいは、哀しみを味わうのも悪くない。

実業之日本社販売本部
電話:03-6809-0495

FAX:03-6809-0669

弊社販売担当印

帳合・貴店印

実業之日本社

木爾 チレン 著

通常版ご注文数

サイン本ご注文数

新刊

11月11日配本 10月14日指定〆切

哀を飲む

※配本部数の状況によりご発注の部数を調整させていただくことがあります。
サイン本は通常より出荷にお時間をいただきます。あらかじめご了承ください。

ご担当:

様

四六 並製 予価（本体1,750円+税） ISBN978-4-408-53891-4

冊

冊